

平成29年度の管理運営状況（駒沢オリンピック公園総合運動場）

指定管理者： 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等																									
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全安心・快適性を確保するため、施設・設備について、老朽化の状況等を踏まえ、都との緊密な連携により補修・修繕を実施 (第二球技場、補助競技場人工芝の修繕、競技用備品(移動式バスケットゴール、走り高跳び用支柱等)の修繕、部品製造中止に伴い体育館空調設備のオーバーホールの実施、自家発電機器の修繕対応等) 																									
		施設の提供について	<ul style="list-style-type: none"> ●優先受付やスポーツ団体への働き掛け等により、多様な大規模大会を開催 (2017高円宮杯フェンシングワールドカップ、FIBA Basketball World Cup2019一次予選、内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪第71回全日本総合バドミントン選手権大会、天皇杯平成29年度全日本レスリング選手権大会、第13回ボルダリングジャパンカップ、高円宮杯ホッケー日本リーグ、第28回日本パラ陸上競技選手権大会、第96回全国高等学校サッカー選手権大会(開会式・開幕戦)等) 																									
	安全性の確保	施設の設備の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●安全点検パトロールを定期的(月1回)に実施し、施設・設備の危険箇所の発見と対応 ●関係団体実務代表者による「連絡調整会議」を月1回実施し、一体的運営を確保 ●床の「ささくれ」による事故の防止に向けて、日々の床チェック並びに体育館の油性塗料による保全措置を実施 ●屋内球技場、テニスコートの水害対策として防潮板の設置等を実施 																									
		防災への配慮・緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> ●東京消防庁第三消防方面本部救助救急訓練の実施に寄与し、合同でテロ(爆破事案)を含めた災害時の救急救護、避難誘導訓練を実施(公園管理者と連携) ●AEDを全施設に配備、全職員が「普通救急救命講習」受講 ●飲料自動販売機の災害時における無料提供(28基)の確保 ●都から支給の帰宅困難者用備蓄品の保管・管理及び有効期限経過に伴う交換に加え、独自に食料・飲料水など備蓄品の買い替えを実施 ●地元警察署、消防署、自衛隊、区役所の協力や地域住民参加による防災フェスタin駒沢を実施(公園管理者と連携) ●自衛消防活動技術大会への条例隊の参加(敢闘賞) 																									
事業効果	利用の状況	個人利用者数 団体利用稼働率	<ul style="list-style-type: none"> ●トレーニングルーム個人利用実績 217,972人 ※毎年度、過去最高の利用者数を更新中 ※トレーニング機器リニューアルを実施 ●施設稼働率(体育館、第二、補助) 平均稼働率実績 97.7% ※高い稼働率を継続 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption><トレーニングルーム利用者数> (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>177,472</td> <td>191,293</td> <td>197,617</td> <td>217,972</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption><稼働率> (%)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>体育館</th> <th>第二球技場</th> <th>補助球技場</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>98.2</td> <td>97.7</td> <td>97.8</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>96.2</td> <td>97.8</td> <td>99.2</td> <td>97.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	利用者数	177,472	191,293	197,617	217,972		体育館	第二球技場	補助球技場	平均	H28年度	98.2	97.7	97.8	97.8	H29年度	96.2	97.8	99.2	97.7
			年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																					
	利用者数	177,472	191,293	197,617	217,972																							
		体育館	第二球技場	補助球技場	平均																							
H28年度	98.2	97.7	97.8	97.8																								
H29年度	96.2	97.8	99.2	97.7																								
スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●駒沢ジュニアサッカースクールなどスポーツ振興事業16事業、ジュニアベースボール大会など自主事業18事業、計34事業を計画どおり実施 ●体育の日記念行事では、サーフィン、ボルダリング、3×3などのオリンピック新種目の体験などを通じて東京2020大会の気運を醸成 																											
事業の取組み	サービス向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ●年末年始休館時(12/30~1/3)も、大会主催者の要望を踏まえて貸出し、全国高等学校サッカー選手権大会、Bリーグ アルバルク東京ホームゲームを実施 ●利用者の要望を踏まえ、トレーニングルームの時間延長の継続及びトレーニング機器のリニューアルを実施 ●オリンピック記念塔ライトアップを行い、東京2020大会、ラグビーW杯の気運を醸成 ●屋内球技場・第一球技場オープニングイベントを実施 																										
	利用者ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ●利用満足度調査、利用者懇談会を実施し要望等を把握するほか、事業毎のアンケートや各施設に設置したご意見箱により利用者の声を収集 																										
	その他 公園との連携協力、大規模工事への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ博覧会、6時間耐久レースやクリスマスイルミネーションなど、中央広場等の公園施設を活用した一体イベントの実施 ●「公園連絡調整」の担当を設置し、毎朝の打ち合わせを行い、情報の共有を徹底 ●路上生活者の新規抑制。体育施設内の路上生活者は、平成19年度以降ゼロを継続。 ●屋内球技場・第一球技場等の再開に向け、防球、防矢ネットの設置、シッティングバレー用支柱、車いす用観覧席の改造等を実施 ●29年度から実施となる硬式野球場の改修工事について、競技団体等の意見を集約し、都との調整を実施 																										